

2023年度 キャンパスライフに関するアンケート調査 (結果概要のフィードバック)

キャンパスライフに関するアンケートへのご協力をありがとうございました。
本アンケートは、「学生生活の実情」、「充実した学生生活を送るための課題」を把握し、学生支援の在り方を検討することを目的に、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われる前期末ガイダンス時に実施しています。

本アンケートの対象は、看護学部(362人)、人間福祉学部(116人)、助産学専攻科(8人)の全学生(486人)で、この度の回答率は90.1%(438人)でした。

結果の概要と皆さんから寄せられたご意見に対するコメントをお知らせいたします。皆さんからいただいた貴重なご意見をもとに大学と学生委員会で協力しながら、改善を試みていきます。

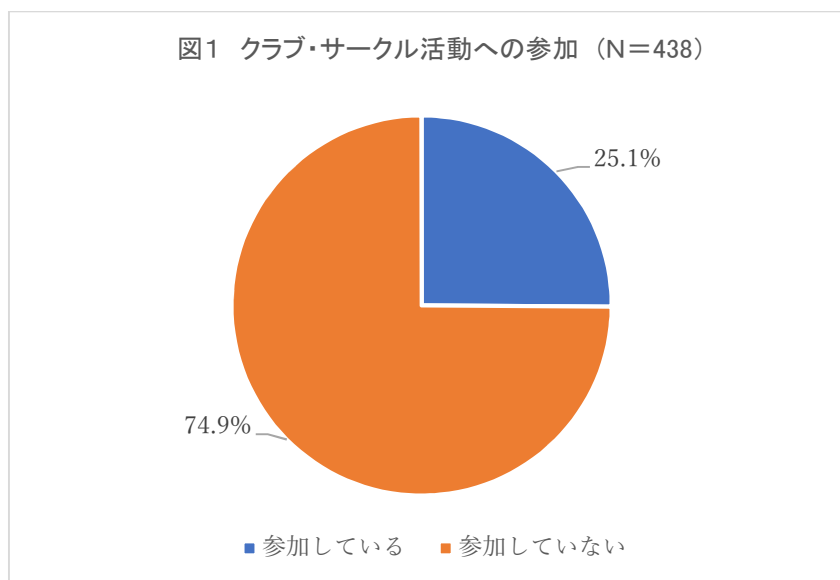
(2024年1月5日 佐久大学 学生委員会)

1. キャンパスライフ

1) クラブ・サークル活動の参加状況 (図1)

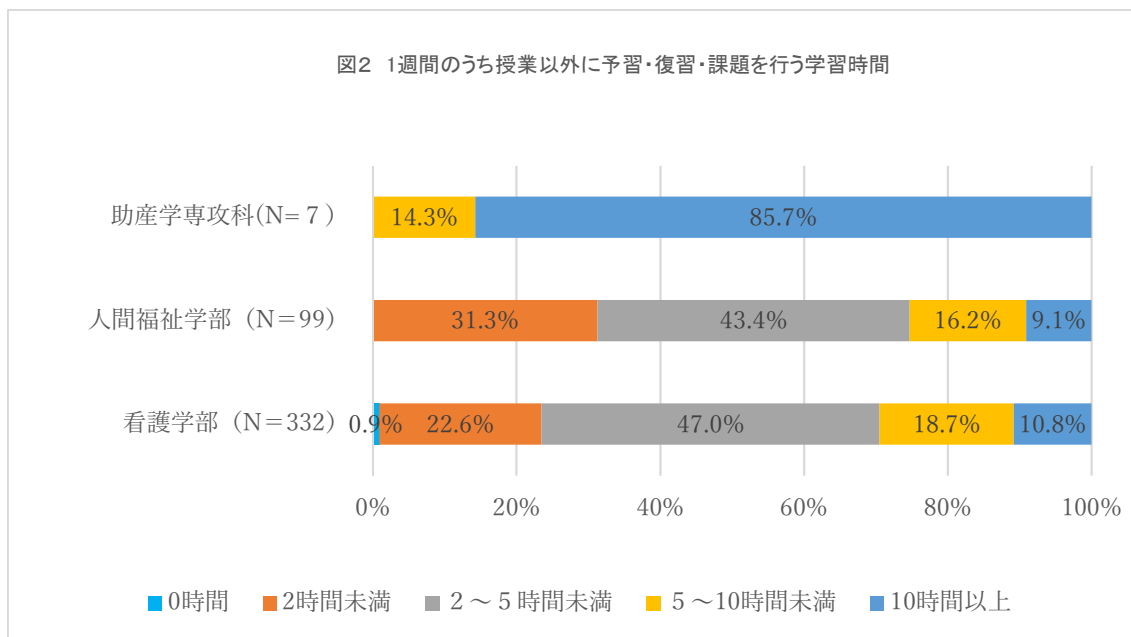
クラブやサークル活動に参加している学生は全学生の25.1%でした。

引き続き、クラブ・サークルの活動を継続、さらには拡大できるようにサポートいたします。

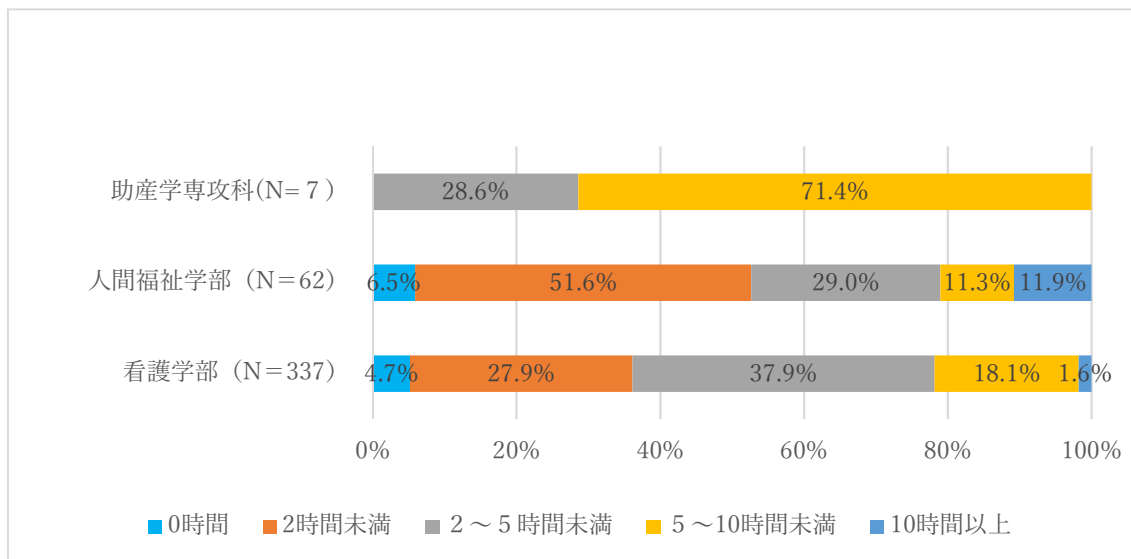


2) 1週間のうち予習・復習・課題を行う時間 (図2)

授業の予習・復習・課題を行う時間について、助産学専攻科以外、週5時間未満が約7割を占めていました。人間福祉学部及び看護学部では、2～5時間未満の割合が昨年度の3割から4割に増え、2時間未満が減少傾向でした。自己学習は単位修得や国家試験の合否に影響しますので、学習習慣が定着するようにサポートしていきます。



【参考】2022年度 1週間のうち予習・復習・課題を行う時間

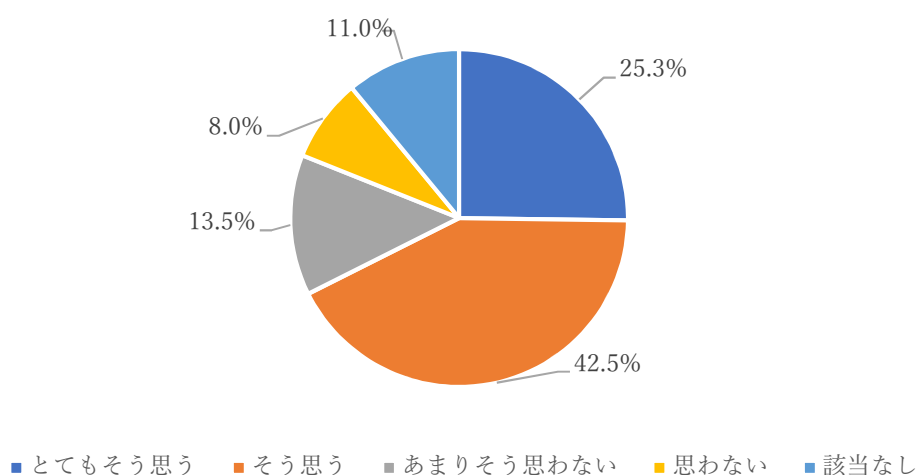


2 チューター制度（看護学部）・グループ担当制（人間福祉学部）について

1) 教員との必要な相談ができたか（図3）

チューター制度、グループ担当制を活用して、教員との必要な相談ができたかについて、「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した方が合わせて約7割弱でした。今後より一層教員と必要ときに相談できる体制を引き続き整えていきます。

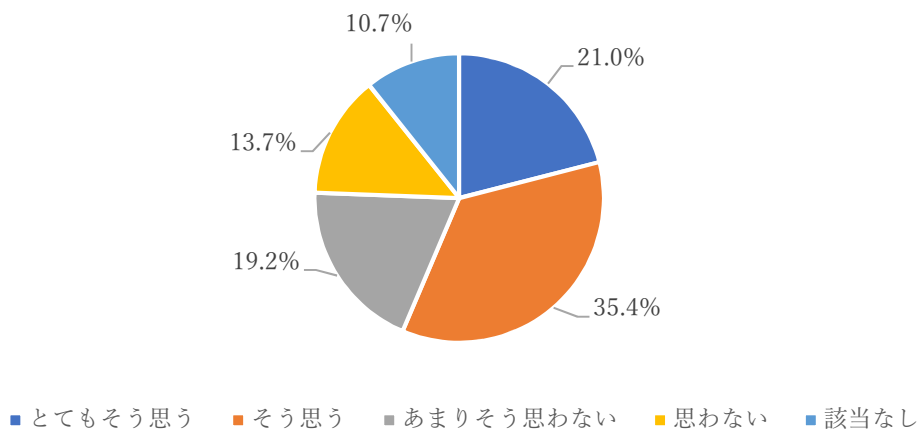
図3 グループチューター制(看護学部)/グループ担当制(人間福祉学部)を活用して教員と必要な相談ができた(N=438)



2) 先輩や後輩との情報交換（図4）

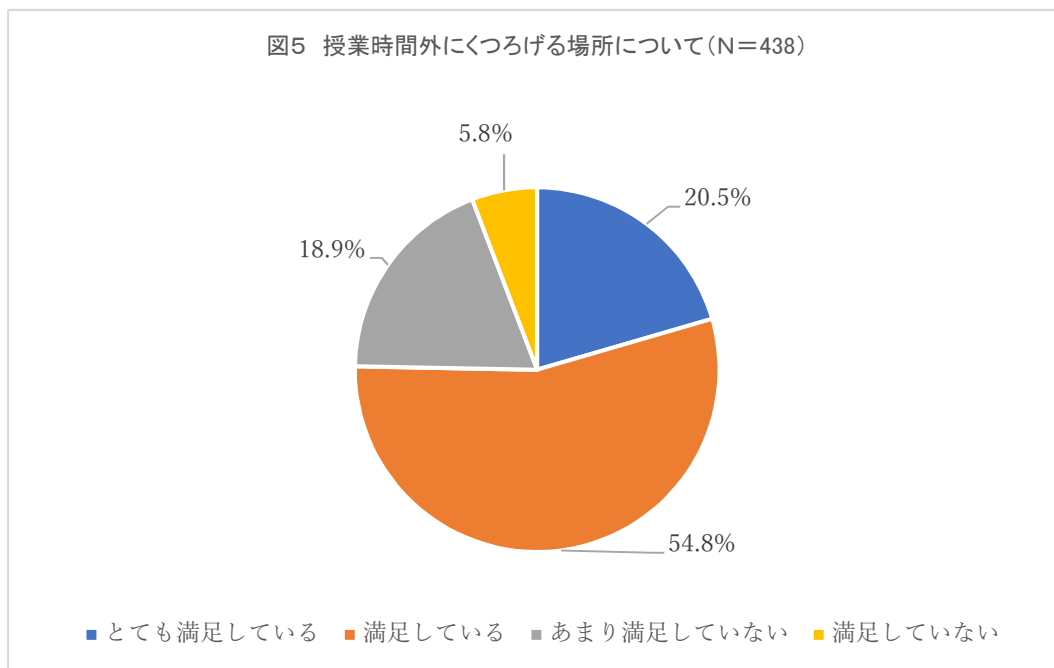
チューター制度、グループ担当制を活用して、先輩や後輩との情報交換ができたについて、「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した方が合わせて約6割弱でした。今後、チューター制度、グループ担当制が「縦の交流」ができるようにサポートしていきます。

図4 グループチューター制(看護学部)/グループ担当制(人間福祉学部)を活用して先輩や後輩との情報交換ができた(N=438)



3 授業時間外にくつろげる場所について (図5)

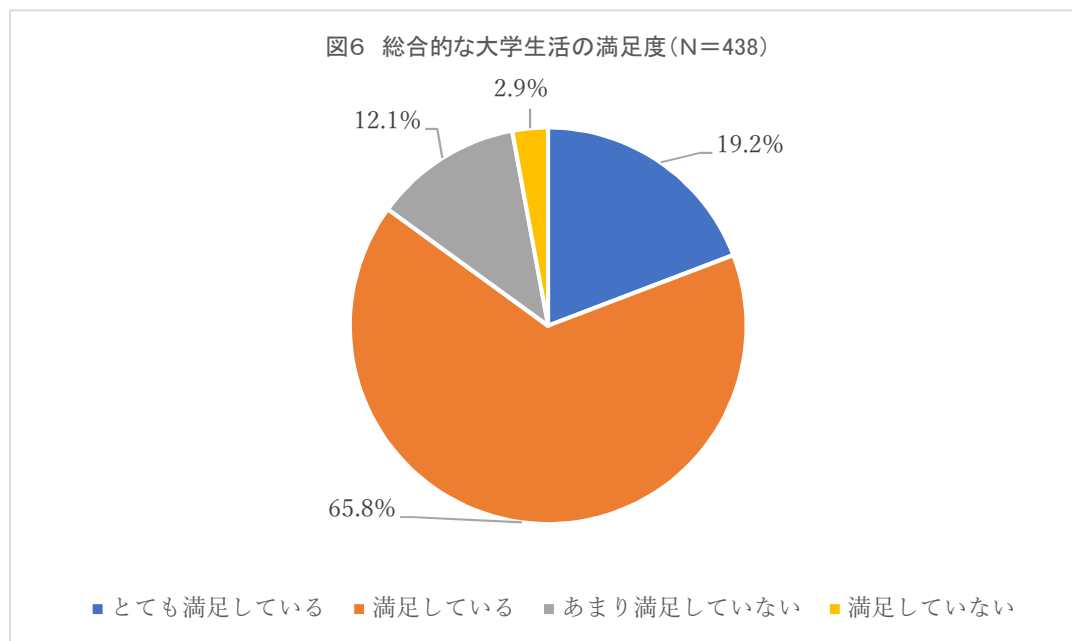
授業時間外にくつろげる場所について、「とても満足している」、「満足している」と回答の方が合わせて約7割でした。学生の皆さんがより一層学内でリラックスして過ごせるように、環境を整備していきます。



4 総合的な大学生生活の満足度 (図6)

8割以上の学生が大学生生活に満足をしていました。

今後も学生のみなさんが充実した学生生活を送れるように、学修、キャリア開発、健康や精神面、経済的支援など総合的にサポートをしていきます。



ご意見・ご要望

自由記述として、280 件の記述がありました。一部を抜粋しております。

- ・ アンケート回答の時期が7・8月であったためか、大学内の空調に関するご意見が48件ありました。暑く感じる方、寒く感じる方がそれぞれおり、適切な管理を希望していました。
- ・ 施設利用について31件の意見があり、教室利用の時間延長や土日の図書館利用を希望する声が多くありました。
- ・ 学生駐車場に関するご意見も31件あり、多くは第2駐車場と通路の整備に関するものでした。
- ・ 自動販売機に関するご意見は21件あり、6号館内の設置とアイスの販売機の希望がありました。購買やカフェの設置希望は、8件でした。
- ・ 教室の設備に関しては安定したWi-Fi環境や、6号館の机の材質の改善等13件の要望がありました。

本学の強み

本学の強みとして231件の記述がありました。一部を抜粋しております。

- ・ 本学は、自然が豊かであり、羊に癒されるという回答がありました。
- ・ 佐久市という立地を活かし、地域に密着した学び（機会と内容）が豊富であることや、学部を超えた学びが強みであるという意見がありました。
- ・ 図書館の充実や学修スペースが豊富であることから、学修環境が整っていること、学生の交流の場や落ち着いて過ごせる居場所があることをあげていました。
- ・ 教職員と学生の関係については、距離が近く相談しやすいと回答があり、チューターやグループ担当制度、事務局を含めた支援体制の充実をあげていました。

皆さんが充実した学生生活を過ごすことができるように、皆さんのご意見、ご要望を真摯に受け止め、改善に努めて参ります。また、校内に意見箱が設置されておりますので、ご活用ください。